News Release

2022.10.27



「地域環境づくり」と「次世代の育成」に 貢献します。

阪急阪神ホールディングス株式会社

グループ経営企画室 広報部

〒530-0012 大阪市北区芝田一丁目16番1号 Tel:06-6373-5092 Fax:06-6373-5670 https://www.hankyu-hanshin.co.jp/



「住まうまち 豊中」 ~今考える、時代を越えるその魅力~ 「とよなか公民学連携フォーラム2022」を開催

阪急阪神ホールディングスと豊中市は、本年2月に包括連携協定を締結したことを記念して、歴史やまち づくりの背景を振り返りながら、同市の未来について考える「とよなか公民学連携フォーラム2022」を、 12月1日(木)に開催します。

本フォーラムでは、「『住まうまち 豊中』 ~今考える、時代を越えるその魅力~」をテーマとして、 阪急電鉄による住宅地の開発など、当社グループと豊中市がこれまで協働して行ってきたまちづくりを紹 介することにしています。同市の魅力を改めて感じていただくとともに、地域課題の解決に取り組むきっ かけづくりになればと考えております。

1. 概要

日 時:2022年12月1日(木)14~16時

場 所:豊中市立文化芸術センター 多目的室(豊中市曽根東町3-7-2) ※オンライン参加も可

定 員:会場70名・オンライン500名(いずれも先着順)

2. プログラムの内容

①基調講演 「阪急電鉄の豊中市の住宅開発等から読み解く、豊中の暮らしについて」

[講師] 阪急文化財団 館長 仙海 義之

②基調講演 「豊中の多様な郊外生活の魅力や特徴について」

「講師」神戸大学 特命講師 小代 薫

③パネルディスカッション 「未来の豊中市のまちづくりについて」

「パネリスト」仙海 義之、小代 薫

[コーディネーター] 豊中市教育委員会事務局 社会教育課 学芸員 陣内 高志

(敬称略)

3. 参加費

無料

4. 募集期間

2022年10月27日(木) 14時~11月30日(水) 17時

5. 応募方法

「豊中市電子申し込みシステム」をご利用いただくか、7. に記載のお問い合わせ先に、電話もしくは メールにてお申し込みください。詳しくは下記のURLからご確認ください。

https://www.city.toyonaka.osaka.jp/joho/koumin_renkei/pf/koumingaku2022.html

6. 共催

阪急阪神ホールディングス、豊中市

7. お客様からのお問い合わせ先

豊中市 都市経営部 創造改革課

T E L : 06-6858-2084 MAIL: souzou@city. toyonaka. osaka. jp

【ホームページ】 https://www.city.toyonaka.osaka.jp/joho/koumin_renkei/pf/koumingaku2022.html

「とよなか公民学連携フォーラム2022」 開催案内チラシ 【添付資料】

【お知らせ配付先】 青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

以上

共催:豊中市

阪急阪神ホールディングス株式会社

とよなか公民学連携フォーラム2022

住まうまち 豊中

~今考える、時代を越えるその魅力~

豊中市の直近の公民学連携の取り組みについて ご紹介するとともに、市の歴史やまちづくりの 背景を振り返りながら、豊中市のこれからの未 来を語るフォーラムとなります。

基調講演のあとに、パネルディスカッションで 議論を深めます。

第1部 基調講演① 阪急電鉄の豊中市の住宅開発等から読み解く、 豊中の暮らしについて

基調講演② 豊中の多様な郊外生活の魅力や特徴について

第2部 パネルディスカッション 未来の豊中市のまちづくりについて



登壇者の紹介 (敬称略)



仙海 義之 公益財団法人 阪急文化財団 理事・館長

基調講演①



小代 薫 神戸大学経済経営研究所 特命講師

基調講演②



陣内 高志 豊中市教育委員会 社会教育課 主査 (学芸員)

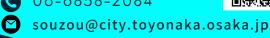
コーディネーター

お申込みはQRコードを読み取って 豊中市電子申込システムまたは、 下記の電話・メールでお申し込みください。 (事前予約要・先着順)

豊中市 創造改革課



06-6858-2084



令和4年(2022年)12月1日(木)14時~16時

会場参加・オンラインのいずれかを選んでいただけます

- ZOOM(ウェビナー):500名まで
- 会場参加:70名まで 豊中市立文化芸術センター 多目的室 豊中市曽根東町3-7-2 阪急宝塚線「曽根」駅 徒歩約5分